

## 第 23 回

### 近畿 Venous Forum が

(弾性ストッキング・コンダクター大阪地区講習会併施)

11 月 10 日(土)に

住友病院 14 階大講堂にて開催されます。

当院からは

血管外科センター長 今井崇裕 先生が

学術発表されますので、ご紹介致します。



# 第23回 近畿 Venous Forum

弾性ストッキング・コンダクター 大阪地区講習会 併施

理事長：岡村 吉隆 和歌山県立医科大学 特別顧問

大会長：高木 正 一般財団法人 住友病院 形成外科部長

開催日

平成30年11月10日（土）

開催場所

一般財団法人 住友病院 大講堂 14階

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20 TEL:06-6443-1261（大代表）

9:00~  
13:00

## 弾性ストッキング・コンダクター講習会

下肢静脈瘤、リンパ浮腫、深部静脈血栓症の予防と治療、弾性ストッキングおよび弾性包帯の基礎と臨床、実技

講習会会長：今井 崇裕 医療法人康仁会 西の京病院 血管外科センター

ホームページ： <http://www.jp-phlebology.org/japanese/sscc/scadule.html>



14:00~  
18:00

## 第23回 近畿ヴィーナスフォーラム 旧下肢静脈瘤研究会

講演：磯ノ上 正明 先生、久保 盾貴 先生、坂田 雅宏 先生、波多 祐紀 先生、辻 明宏 先生

座長：高木 正 一般財団法人 住友病院 形成外科

ホームページ： <http://itotek.m78.com/kinki/index.html>



※弾性ストッキング・コンダクター講習会を受講された方も近畿ヴィーナスフォーラムにご参加頂けます。

関連企業展示ブース有



お問い合わせ

弾性ストッキング・コンダクター講習会事務局：医療法人 康仁会 西の京病院 血管外科センター 今井 崇裕 Email：kekkegeka@nishinokyo.or.jp  
近畿ヴィーナスフォーラム事務局：医療法人 下肢静脈瘤研究会 坂田血管外科クリニック 坂田 雅宏 Email：kinki-vf@email.plala.or.jp



# 第 23 回 近畿ウィーンフォーラム

理 事 長 : 和歌山県立医科大学 名誉教授 岡村 吉隆  
大 会 長 : 住友病院 形成外科 高木 正  
日 時 : 平成 30 年 11 月 10 日 (土) 14:00~18:00  
場 所 : 住友病院 14 階 大講堂 (地図:裏面)  
大阪市北区中之島 5-3-20 TEL:06-6443-1261

★ 14:00~14:05 開会の辞 住友病院 形成外科 高木 正 先生

1) 【ワークショップ講演「静脈瘤とその附随疾患あれこれ」(前半)】

14:05~15:05 (発表 22 分、質疑 8 分 2 演題)

座長 : 神戸労災病院 皮膚科 皿山 泰子先生

1. 「静脈うっ滞性潰瘍の治療—陰圧閉鎖療法を活用して」

○久保 盾貴 大阪大学 形成外科 藤山 浩 大阪みなと中央病院 形成外科

2. 「静脈の病態生理の皮膚への表現形について」

磯ノ上 正明 いそのかみ皮膚科

2) 【一般演題】 15:05~16:05 (発表 12 分、質疑 8 分 3 演題)

座長 : 住友病院 形成外科 高木 正先生

1. 「理想の弾性ストッキングを求めて -NARA ソックス・プロジェクトその後-」

今井 崇裕 西の京病院 血管外科

2. Klippel-Trenaunay 症候群に対する血管内レーザー焼灼術の治療経験

黒田 一也 大阪警察病院 形成再建外科・美容外科

3. 静脈はなぜ青いか?

坂井 浩志 大阪警察病院 皮膚科

休憩 (約 15 分間)

3) 【ワークショップ講演「静脈瘤とその附随疾患あれこれ」(後半)】

16:20~17:50 (発表 22 分、質疑 8 分 3 演題)

座長 : 和歌山病院 心臓血管外科 畑田 充俊先生

1. 「下肢静脈鬱滞性潰瘍症例に対する圧迫療法」

坂田 雅宏 坂田血管外科クリニック

2. 「静脈瘤かと思ったら静脈奇形: そのタイプ別の対応」

波多 祐紀 JCHO 大阪病院 形成外科

3. 「深部静脈血栓症に対するカテーテル治療」

辻 明宏 国立循環器病センター 心臓血管内科 肺循環部門

★ 17:50 閉会の辞 和歌山県立医科大学 名誉教授 岡村 吉隆 先生

【後援】大阪府医師会

本研究会は大阪府医師会生涯教育講座 (3.5 単位) として申請しております。

大阪府医師会にご所属の方は「生涯研修チケット」をご持参下さい。

駐車場はご用意しておりませんので、公共の交通機関にてお越し下さい。

(参加費: 医師 2,000 円、非医師 1,000 円を受付にて徴収させていただきます。)

## 「理想の弾性ストッキングを求めて -NARA ソックス・プロジェクトその後-

西の京病院血管外科 今井崇裕

### 【抄録】

昨年、第 22 回近畿下肢静脈瘤研究会において私が活動している「NARA ソックス・プロジェクト」を紹介した。今回、その後の活動経過を報告する。

NARA ソックス・プロジェクトの内容を以下に要約した。『日本は島国で災害が多い。2011 年の東日本大震災では、マグニチュード 9.0 の地震から巨大な津波が発生し、死者は 16,000 人を超え VTE の発生率は約 9%と報告された。災害の度に弾性ストッキングの重要性が取り上げられている。しかし理想は、日差しの強い日に自然と帽子をかぶり、サングラスをかけるように、災害時が起きたとき自然に弾性ストッキングを着用する未来である。また国内の弾性ストッキングの約 8 割は輸入品である。災害が多い日本で、弾性ストッキングを積極的に作るべきではないだろうか？ 日本には「ものづくり」という言葉があり、製造業とその精神性や文化を表す。これは単なる物の製造ではなく、こだわりを持った職人による高度な製造を追求する日本の伝統技術である。私が勤務する奈良県には「靴下の町」と呼ばれ、伝統的に靴下産業の盛んな広陵町がある。この地域は水分の多い大和木綿が収穫され綿花産業が盛んになった。一足一足丁寧に作る手法から、世界の高級ブランドから品質が認められている、まさに日本を代表する「ものづくり」である。しかしながら 1990 年を境に売上高は激減し、多くの靴下会社が苦境に立たされている。活動は広陵町町役場への 1 本の電話から始まり、誕生したのが NARA ソックス・プロジェクトである。弾性ストッキング着用の啓蒙と地元産業の復興の 2 つをプロジェクトのゴールとして、地元の医療機関、靴下会社と大学生による活動の記録である』。

今年、この活動が評価されメキシコ ARIAS MEDICAL FOUNDATION AND THE SCIENTIFIC INSTITUTE OF HIGHER EDUCATION の Excellence Award を受賞した。8 月にメキシコ合衆国ベラクルス州パラパで開催された受賞式に参加し、知り得た海外で求められている理想の弾性ストッキング像について報告する。



## 弾性ストッキング・コンダクター 大阪地区講習会 プログラム

日時:2018年11月10日(土) 9:00-13:00 (受付開始 8:30~)

会場:一般財団法人 住友病院 14階大講堂

### ■開会の辞 9:00-9:05

今井 崇裕 (西の京病院 血管外科)

### ■認定制度について 9:05-9:15

岩田 博英 (いわた血管外科クリニック)

### ■弾性ストッキングを使用する脈管疾患に関する講義 9:15-10:00

9:15~9:30 1) 下肢静脈瘤 坂田 雅宏 (坂田血管外科クリニック)

9:30~9:45 2) リンパ浮腫 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科)

9:45~10:00 3) 深部静脈血栓症の予防と治療 松尾 汎 (松尾クリニック)

### ■弾性ストッキングに関する専門講義 10:10-11:25

10:10~10:35 1) 弾性ストッキングの基礎と臨床 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科)

10:35~11:00 2) 弾性包帯の基礎と臨床 岩田 博英 (いわた血管外科クリニック)

11:00~11:25 3) 製品の特徴

### ■実技講習 11:35-12:55

11:35~12:15 1) ストッキング実技 椎名 昌美 (近畿大学東洋医学研究所 婦人科)

12:15~12:55 2) 包帯実技 今井 崇裕 (西の京病院 血管外科)

### ■閉会の辞 12:55-13:00

椎名 昌美 (近畿大学東洋医学研究所 婦人科)

※ 弾性ストッキング各社の展示・ブース見学が可能です。